

## 2019年度 第1回細胞検査士会役員会議事録

日時：第60回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

2019年6月7日（金） 15:00～16:00

場所：京王プラザホテル

役員出席者

【会長】伊藤 仁，【副会長2】小松 京子，三宅 真司，【幹事】平田 哲士，阿部 仁，仲村 武，原田 仁稔，河原 明彦，古田 則行，南部 雅美，小川 勝成，山城 篤，遠藤 浩之，竹中 明美，安達 博成，有田 茂実，石井 保吉，及川 洋恵，柿沼 廣邦，加戸 伸明，片山 博徳，小林 幸弘，小山 芳徳，笹井 伸哉，澁木 康雄，棚田 諭，土田 秀，田路 英作，野崎 正行，畠 榮，服部 学，羽原 利幸，廣井 禎之，深澤 政勝，藤井 和晃，松本 慎二，町田 知久，丸川 活司，丸田 淳子，三浦 弘守，山本 秀巨

【監事】片岡 秀夫

【欠席者】阿部 英二，今枝 義博，藤田 勝、横山 俊朗

会の成立：役員 47 名中 43 名出席，委任状提出 4 名 仲村庶務委員長が成立を宣言

議長選出：伊藤会長推薦により平田総務委員長が選任された

議事録作成：仲村 武、棚田 諭、石堂 統

議事録署名人：伊藤 仁、片岡 秀夫

会長挨拶

皆様，本日はお忙しいところ，ご出席いただき誠に有り難うございます．今年  
は，役員改正の年になりますので，本日は，元の役員と新役員になられる方に，  
オブザーバーとして出席して頂いて，新旧合同の役員会とさせて頂きました．ま  
ず今回役員を退任される方には，これまで細胞検査士会のご尽力に心より感謝  
を申し上げます．どうもありがとうございました．また，新たに役員となられる  
皆様方には，細胞検査士会のためにどうぞお力添えを頂きますようお願い申し  
上げる次第です．

さて，細胞検査士役員会と同様に日本臨床細胞学会の方も評議員の選出，理事  
改選の年となっております．今回も日本臨床細胞学会の理事選挙に私と小松副

会長、それと石井前会長の3名が理事に当選させて頂きました。ご協力頂きました皆様方には厚く御礼を申し上げます。しかしながら、いつも申し上げている事でございますが、40名弱の日本臨床細胞学会の理事のうち細胞検査士の理事はわずかに3名でございます。約12,000名の会員を擁する日本臨床細胞学会のほぼ2/3近くを占める細胞検査士ですが、理事はたったの3名ということになります。この現状を是非役員の皆様方にはしっかりとご認識頂きまして、現在議論されているところではございますが、是非、細胞検査士からもっと理事を出すために正会員を増やす、評議員を増やすための取り組みへのご協力を切にお願い申し上げます。

それと、日本臨床細胞学会の理事長の任期満了に伴いまして、明日の総会で今までの青木理事長から北里大学の佐藤之俊先生が理事長になることが決定しております。

2020年、私が主催させて頂きます日本臨床細胞学会秋期大会の件についてですけれども、その準備状況ですが、現在、組織作りをしているところでございます。コンベンションサービス等々を決定させて頂きまして、これからのコアプログラム委員会等を決めていくというような段階です。会場となるパシフィコ横浜 North は現在建設中です。2020年の4月に開業に向けて着々と工事が進んでおります。現在のパシフィコ横浜の会議場と同規模あるいは若干大きめのコンベンションセンターとなります。期日はこれまで何度も申し上げさせて頂きましたけれども、2020年の11月21日・22日でございます。土・日、月曜日が祝日ですので、3連休の最初の2日間で行う予定でございます。必ず大成功させたいと思いますので、皆様方の絶大なるご支援をお願いいたします。この学会に関して何か良い企画・アイデア等がございましたら、遠慮なくお申し出頂きたいというふうに考えております。なんといたっても参加人数が多いことが学会の成否を決めますので、どうぞ2020年には日本中の細胞検査士の集結を目指して、皆様方の協力をお願いいたします。

## I. 議事録確認

「平成 30 年度細胞検査士会役員会第 2 回役員会議事録」の確認した

## II. 報告事項

議案書の通り

## III. 議案

第 1 号議案：細胞検査士会平成 30 年度事業報告およびこれに伴う決算書  
決算書を一部訂正して承認した。

## IV 確認・検討事項

1) 2019-2020 年度監事候補者について選出した。

鳥居 良貴 氏

石井 保吉 氏

2) がん検診委員会は渉外委員会の小委員会とする

内規の整備、活動内容の引き継ぎ、委員の選定を進める

3) あり方委員会：細胞検査士の地位向上に向けて

記述式のアンケート結果を報告する

引き続き、細胞検査士正会員を増やす方策を検討していく。

4) その他

- ・細胞学会より子宮の日の冊子を負担するのは難しい。
- ・細胞学会への細胞検査士のメーリングリストの登録が少ない。
- ・各セミナー、地域連合会の日程が重なってしまうことが無いように都道府県代表者会議で報告する。多くの事業は日程がほぼ同じ時期に開催される。

## V. 質疑内容

### 【報告事項】

- ・がん検診委員会を渉外委員会の小委員会にした経緯について（安達幹事）  
がん検診委員会と渉外委員会の事業内容が重なることが多く、渉外委員会に入った方がよい。がん検診委員会の事業内容が縮小するわけではない  
（平田議長）

## 【確認・検討事項】

- ・細胞検査士正会員を増やす方策について 以前に行った記述式アンケート結果を公表して、検討する必要がある。(安達幹事)  
記述式アンケート結果を公表し、検討する方向である。(遠藤あり方委員長)
- ・細胞検査士準会員を廃止すれば良いのではないかと、過去の経緯をあまり知らない若い人達の意見としてある。(田路幹事)  
細胞学会の制度であって、検査士会の制度ではないので、難しいことだと思われる。(平田議長)  
フルタイムで勤務されていない方の為にも必要ではないか。(平田議長)  
細胞学会の規則を変更する必要がある、そのためにも細胞検査士が多く理事になる必要がある。(伊藤会長)
- ・正会員と準会員を教育の場で区別するのは良くない。(安達幹事)
- ・準会員が意見述べる場が必要ではないか。(安達幹事)
- ・都道府県代表者会議で正会員の意義を説明し、各代表者がそれぞれの地域で準会員が正会員になって頂くよう地道に活動することが大事である。(羽原幹事)
- ・今年度の細胞検査士教育セミナー(大阪)と近畿連合会の開催日が重なった原因と今後の対策と今後このような事案がないようお願いしたい。また、e ランニング制度を細胞検査士にも認めて欲しい。(安達幹事)  
毎年、細胞検査士教育セミナー(臨床細胞学会事業)は同じ時期に開催している。この役員会ではなく、臨床細胞学会の都道府県代表者会議でアナウンスしていただきたい。(伊藤会長)  
e ランニングを利用して、細胞検査士の資格更新単位を取得できるシステムを理事会の承諾が得られれば、検討・整備するように努める。(伊藤会長)

## VI. その他

### 細胞学会 渉外・広報委員会報告

- ・子宮の日全国アクション(Love49の活動)に関する日本臨床細胞学会としての予算についての結論は、『子宮の日の冊子、他を负担するのは難しい』さらに、この案件はこの結論をもって終了とする。細胞検査士会としてあらたに要望を提出して頂きたいとのことであった。(廣井幹事)

#### 監事からのご意見

- ・任期4年間, 監事を担当しましたが, 役員の方々には非常にお忙しい中, 細胞検査士の皆様の為に事業を担当して頂き感謝しています. また会計監査等でもご協力・ご尽力頂き感謝申し上げます. 本学会細胞診専門医がいつ日本専門医機構に認定されるのか危惧していますが, 細胞検査士は本学会が認定している資格であり, 役員の皆様が細胞検査士の地位向上を目指す意識を持って進んでいって欲しい. (片岡監事)